

## 旧佐賀市消防本部の沿革

明治23年		公設消防を組織(10部分割、各部に小頭2人、消防夫50人)、組頭をもって統轄。
大正11年	10月	神野村の合併に伴い、八戸町を管轄していた十部を九部に併合。同時に神野地区に2部を増設、計11部。
昭和4年	8月	消防自動車(トッチブラザーズ、20馬力ドイツ製ロータリーポンプ)を購入。各部から小頭、巡查、運転手各1人を選出し消防組に配置。
昭和9年	4月	各部にポンプを配置(手引ガソリンポンプ)。各部の要員(小頭2人、部員30人)。本部要員(組頭1人、庶務係1人、ラッパ手8人)更に破壊消防等の作業担当の作業班(小頭2人、班員33人)を設置。従来の自動車ポンプは小頭1人、部員22人をもって本部の直轄として配置。
昭和11年	11月	本部にポンプ1台購入(フォード三輪自動車ポンプ)。
昭和14年	4月	警防団令交付により、各部は団の消火班に編入。本部の構成は班長以下12人、消防車2台。
昭和16年	2月	常備消防設置の機運にそい、2月11日紀元節を期して要員は2部制とし、班長2人、部員10人をもって発足。
昭和22年	2月	部員18人に増員。
	5月	消防団令交付により、常備はそのまま存置し、他に市内を5分団に分ち小学校区をもって分団区域とし、分団長各1人、副分団長各2人、庶務部長各1人を置き、その下に2ないし3の部を置く。市内を従来どおり11部として、各部長の下に40人の団員を配置。
	10月	火災通報専用電話を設置。佐賀市消防団条例制定。消防団長及び副団長2人を全団員の投票により選出。警防団解散式並びに新生消防団の結成式を市公会堂で挙行。
昭和23年	3月	消防組織法の施行により、5月1日に常備消防部を解散し、消防本部及び消防署を創設して市長が消防長を兼ね、消防署長は助役の兼務とした。新消防制度発足当時、消防職員は、消防司令以下25人、消防自動車3台、自動三輪積載車1台を保有。
昭和24年	3月	消防自動車(ニッサン)1台を購入し、同年5月、職員の定数を36人に増員。同年8月、専任の消防署長を任命。
昭和25年	8月	水槽付消防自動車(いすず)1台を購入し、職員を5人増員、消防職員定数は41人。
昭和26年	4月	専任の消防長を選任し、消防署長兼務とした。職員定数を5人増員、46人。
	12月	危険物取締条例、火災予防条例を制定し予防業務を本格的に開始。
昭和28年	3月	防火水槽(5基)を始めて設置。
	5月	水槽付消防自動車(いすずディーゼル)1台を購入。

昭和29年	3月	隣接町村の合併により消防団は10分団。
昭和29年～ 30年	10月 ～ 4月	第2次町村合併により、16分団78部となり、団員の条例定数は2,900人。
昭和32年	9月	合併区域の狭あいな道路状況に対処するため、ジープ型消防自動車(トヨタ)1台を購入。
		消防本部、署を新築 総工費 9,566,000円 庁舎面積490.5㎡
昭和33年	3月	日本損害保険協会から寄贈の消防自動車(ニッサン)1台を受領。
昭和33年	4月	職員定数を8人増員、54人。
	11月	高木瀬派出所を新設。庁舎面積 127.27㎡ 消防自動車(ジープ)1台、職員6人を配置。
昭和35年	3月	消防自動車(ジープ)1台、超短波無線電話機3基を購入。
	12月	トヨエース(1,000cc)1台を連絡車として購入。
昭和37年	2月	火災通報専用電話がダイヤル式となり「119」番通報となった。
	3月	水槽付消防自動車(トヨタ)1台を購入。
	6月	職員定数を8人増員、62人。 可搬動力ポンプ(トーハツ)1台を購入。
昭和38年	4月	消防団員の定員を2,300人(旧は2,900人)に改めた。 佐賀市消防賞じゅつ金条例を制定。
	10月	課制を実施、総務、予防の2課4係とし、本部と署を兼務。
昭和39年	6月	消防法の改正により、救急自動車(トヨタクラウン4,000cc)1台を購入し、救急隊を編成(6人)して救急業務を開始。職員定数を6人増員、68人。
		庁舎を増改築。増築部分239.79㎡、工費4,000,000円、庁舎の合計延面積は602.51㎡。
昭和41年	2月	水槽付消防自動車(いすゞフォアード6,000cc)1台を購入。(更新)
	7月	赤バイ(ホンダCB300cc)2台を購入し、通信機、超短波無線電話機(1w)各1基を装備。
	10月	連絡車(トヨエース1,200cc)1台を購入。(更新)
	12月	佐賀ライオンズクラブから寄贈の広報車(拡声装置付)1台受領。
昭和42年	1月	職員定数を5人増員、73人。
	4月	職員定数を5人増員、78人。
	7月	指令車(トヨペットクラウン2,000cc)1台を購入。(更新)
	11月	1本部2課4係1署1派出所体制。
	12月	日本損害保険協会から寄贈の水槽付消防自動車(三菱)1台を受領。高木瀬派出所の敷地内に倉庫9.9㎡を新築。
昭和43年	4月	消防副士長制度を実施。

昭和44年	2月	嘉瀬派出所を新設、庁舎面積86.12㎡、消防自動車(ジープ)1台、職員8人を配置。はしご付消防ポンプ自動車(24m級、日野8トンシャーシ)1台を購入。はしご自動車専任の分隊を編成。
		職員定数を3人増員、81人。
昭和44年	3月	消防団員の定員を2,000人(旧は2,300人)に改めた。
	10月	本部、署の機構改革を行い、佐賀市消防本部19人、佐賀市消防署62人の配置とし、専任署長を任命。
	12月	救急車(A型)1台を購入。(更新) 軽四輪トラック(ダイハツ)1台を購入し、昭和37年6月購入の可搬動力ポンプを積載。
昭和45年	3月	赤バイ(ホンダCB300cc)を2台とも廃車。
昭和45年	3月	水槽付消防自動車(いすゞフォアード6,000cc)1台を購入。
	12月	消防自動車(ニッサン、ジープ)1台を購入。
昭和46年	3月	兵庫出張所を新設。庁舎面積135.53㎡、消防自動車(ニッサン、ジープ)1台、職員8人を配置。
		高木瀬派出所を廃止。消防自動車(トヨタジープ)1台を廃車。
	4月	職員定数を9人増加、90人。
	12月	化学消防自動車(日野7,000cc)1台を購入。 救急車(2B型)1台を購入し、兵庫出張所に配置。 消防自動車(ニッサン、損保号)1台を廃車。
昭和47年	1月	北川副出張所を新設。庁舎面積141.64㎡、消防自動車(ニッサン、ジープ)1台、職員8人を配置。
	4月	職員定数を15人増員、105人。
	11月	電波法の改正により消防無線が狭帯域化されたことに伴い消防専用無線電話(真空管式)5基(10W-4基、5W-1基)を購入。
	12月	消防自動車(ニッサン、ジープ)1台を購入。
昭和49年	3月	消防自動車(ニッサン、ジープ)1台を購入。
	4月	副島カタ(成章町1の19)さんから消防団勸興分団第2部へ消防自動車(ニッサン、ジープ)1台を寄贈。 トランジスタ方式無線機6基を購入。(真空管式無線機を切替え) 消防無線の狭帯域化に伴い、電波は2波。 県内波 148.21MH 市町村波 149.61MH 職員定数を3人増員、108人。
昭和50年	3月	消防団員の定員を1,800人(旧2,000人)に改めた。
	12月	消防自動車(ニッサン、ジープ)1台を購入。
昭和51年	3月	佐賀県共済農業協同組合連合会から寄贈の救急車(3B型)1台受領。 日本損害保険協会から寄贈の救急車(3B型)1台を受領。
	5月	住友生命保険佐賀支社から寄贈の救急車(2B型)1台受領。

昭和52年	6月	査察車(ニッサンサニー1,200cc)1台を購入。
	8月	日本消防協会から貸与(当市半額負担)の広報車(三菱ギャラン1,600cc)1台を受領。
	11月	佐賀日産自動車株式会社から寄贈の連絡車(ニッサンチェリー1,400cc)1台を受領。
昭和52年	12月	消防団の勸興、赤松、循誘、日新、神野の5分団を統合して、1分団10部とし、中央分団として12月1日に発足。その結果佐賀市消防団は12分団74部。
昭和53年	4月	職員定数を8人増員、116人。
	10月	北川副出張所に救急車(2B型)1台、職員4人を配置。
	11月	水槽付消防自動車(日産ディーゼル)1台を購入。
昭和54年	7月	指令車(日産セドリック)購入。(更新)
昭和55年	7月	本部及び署の庁舎を兵庫町藤木に新築移転。敷地面積11,850.52㎡、本館は鉄筋コンクリート造4階建て(1階と2階は消防署、3階は消防本部、4階は屋内訓練場)延面積2,243㎡、付棟は鉄骨造平家(車庫)面積329.41㎡、訓練塔は、高さ16.7㎡、屋外訓練場は、面積5,000㎡。通信指令室を新築し、職員7人を配置。
		中央出張所を松原一丁目の旧本部、署跡に開設。 消防自動車(日産ジープ)1台、救急自動車(3B型)1台、職員18人配置。
		兵庫出張所を廃止。
昭和56年	2月	消防自動車(いすゞエルフCD-I型)1台を購入。(更新)
	11月	中央、北川副出張所の救急車を本署に配置替え。
昭和57年	2月	救助工作車(日野レンジャー)1台を購入。
	12月	山之内製薬株式会社から寄贈の救急車(2B型)1台を受領。
昭和58年	1月	消防自動車(三菱ふそうCD-I型)1台を購入。(更新) 消防自動車(三菱ふそう水-II型)1台を購入。(更新)
	3月	中央出張所と西出張所の庁舎を新築。 ○中央出張所(鉄筋コンクリート造2階建) ・敷地面積 390.9㎡ ・建築延面積 294.89㎡ ○西出張所(鉄筋コンクリート造2階建) ・敷地面積 1,315.78㎡ ・建築延面積 540.65㎡
	4月	西出張所を開設。消防自動車(ニッサン、ジープ)1台、職員11人を配置。嘉瀬出張所を廃止。
	12月	消防自動車(三菱ふそうCD-I型)1台を購入。(更新) 救急自動車(日産キャラバン2B型)1台を購入。(更新)
昭和59年	12月	消防自動車(三菱ふそうCD-I型)1台を購入。(更新)
昭和60年	3月	救急車(日産キャラバン2B型)1台を購入。(更新)

	4月	本部、署の機構改革を行い、本部総務課庶務係を総務係、警防係を消防係に改称、署に庶務、警防、指導の3係と通信指令室を新たに設ける。
		北川副出張所(北川副町江上)を東出張所と改称。
	6月	水防車(ニッサンサニー1,500cc)1台を購入。
昭和61年	4月	東出張所の庁舎を北川副町木原に移転新築。 ・敷地面積 728.49㎡ ・建築延面積 246.00㎡、鉄筋コンクリート造2階建て
昭和62年	3月	消防自動車(三菱ふそう水-Ⅱ型)1台を購入。 梯子付消防自動車(40m級、三菱ふそう10トンシャーシ)1台購入。
	4月	職員定数を6人増員、122人。
	5月	査察車(日産スカイライン)1台を購入。(更新)
	6月	水防車(三菱パジェロ)1台を購入。
昭和63年	2月	消防自動車(三菱ふそうCD-Ⅰ型)1台を購入。
	3月	救急車(日産キャラバン2B型)1台を購入。(更新)
	11月	広報車(トヨタコロナ)1台を購入。(更新)
昭和63年	11月	査察車(トヨタタウンエース)1台を購入。(更新)
平成元年	3月	救急車(いすゞファーゴ2B型)1台を購入。(更新)
	5月	特別救助隊設置。
	7月	指令車(日産セドリック)購入。(更新)
平成2年	3月	救急車(トヨタ2B型)1台を購入。(更新) 消防自動車(いすゞエルフCD-Ⅰ型)を救助器具積載用に改造。
	8月	日本消防協会から寄贈の指揮広報車(トヨタコロナ)1台を受領。 消防団旗、分団旗を更新する。
	11月	消防団に小型動力ポンプ5台購入。(更新)
	12月	消防団車両全車に受令機を設置する。
平成3年	2月	消防団ポンプ積載車にダブルキャブ型車両の導入を開始する。
	3月	化学車(日野Ⅱ型)1台を購入。(増車) 救急車(日産キャラバン2B型)1台を購入。(増車)
	4月	職員定数を10人増加、132人となった。 本部、署の機構改革を行い、1課3室を増設、西出張所を西分署と改称し、職員14名を配置、救急隊1隊を増設、運用開始する。
平成4年	3月	本部・署の庁舎を増築。鉄筋コンクリート造3階建て。(延面積860.73㎡)  1階に救急隊専用車庫、消毒室、シャワー室、燃焼試験室を、2階に通信指令室を移設し、消防緊急情報システムを導入、運用開始。
	6月	消防団に小型動力ポンプ5台を購入。(更新)
	7月	人員搬送車(大型バス)1台を購入。(更新)
	10月	消防団にポンプ積載車5台を購入。(更新)

平成5年	2月	日本救急振興財団から寄贈の救急普及啓発広報車(ニッサンシビリアン)1台を受領。
	3月	高規格救急車(トヨタハイメディック)1台を購入。
	4月	職員定数を10人増員、142人。
	5月	救急救命士2名で、高規格救急車の運用を開始する。
	8月	消防団に小型動力ポンプ5台を購入。(更新)
	10月	消防団にポンプ積載車5台を購入。(更新)
平成6年	3月	救急車(日産キャラバン2B型)1台を購入。(更新)
		消防自動車(三菱ふそうCD-I型)1台を購入。(更新)
平成6年	3月	はしご付消防自動車(25m級三菱ふそう8トンシャーシ)1台を購入。(更新)
		西分署の庁舎を改築。救急消毒室を設置。
平成6年	4月	署の機構改革を行い、救急救助室を救急室と救助室に分離。
	12月	消防団にポンプ積載車4台を購入。(更新)
		消防団に小型動力ポンプ4台を購入。(更新)
平成7年	10月	庁舎監視システムの運用を開始。
平成8年	1月	消防団にポンプ積載車4台、小型動力ポンプ4台を購入。
平成8年	2月	安田生命相互保険会社から高規格救急車1台を寄贈。(更新)(日産パラメディックⅡ)
		救助工作車(Ⅱ型)1台及び資器材を購入。(更新)
	9月	消防資機材搬送車1台を購入。(更新)
	11月	消防団に小型動力ポンプ4台を購入。(更新)
		〃 ポンプ積載車4台を購入。(更新)
平成9年	1月	画像伝送システム整備。
	3月	トヨタプレミオ受領。(日本消防協会より寄贈)
	8月	消火・通報訓練指導車(けすゾウくん)受領。(日本宝くじ協会から寄贈)
	11月	消防団にポンプ積載車4台を購入。(更新)
平成10年	4月	携帯電話、自動車電話からの119番分散受信方式開始。
	6月	エアーテント(ジェットエアーテント)を1基購入。
	11月	消防団にポンプ積載車4台を購入。(更新)
		消防団に小型動力ポンプ4台を購入。(更新)
平成11年	2月	高規格救急車(日産パラメディック)1台を購入。(更新)
	11月	消防団にポンプ積載車4台を購入。(更新)
		消防団に小型動力ポンプ4台を購入。(更新)
平成12年	1月	消防自動車(タンク車・日産)を東出張所に配備。(更新)
	3月	後方支援車(日野)1台を購入。(新規)